

平成 28 年度医療技術等国際展開推進事業が始まりました

今年度も国立国際医療研究センターが主催する標記事業に採択され「チョーライ病院との医療技術協力と地方展開のための省病院での卒後研修強化」として南部ベトナム最大の病院であるチョーライ病院、新卒医師教育の責任大学であるホーチミン医科薬科大学との協力をを行うことになりました。卒後研修を行うパイロット省病院としてホーチミン市の南方約 60km にあるティエンザン省のティエンザン省総合病院が選ばれました。主な協力分野は昨年度から行ってきた心臓血管外科、脳外科、消化器外科、ICU、心臓内科、消化器内視鏡に加え今年度から腎泌尿器外科、耳鼻咽喉科への協力も推進し、さらにホーチミン医科薬科大学とも連携し、中央の病院への技術協力の効果を地方に波及するため新卒医師研修のカリキュラムの作成・改善とパイロット病院での実施を視野に入れた協力をを行うことになりました。協力期間は平成 28 年 5 月 20 日から 12 月 20 日までの 7 カ月間で、筑波大学附属病院から医師・看護師合計 20 名を派遣、チョーライ病院およびホーチミン医科薬科大学から 15 名の研修員を受け入れ、さらにホーチミン市において新卒医師教育ワークショップ、チョーライ病院において循環器疾患ワークショップを実施する計画です。昨年度に引き続き協力することで、より多くの人材を育成し、ベトナム南部最大の病院であるチョーライ病院の診療技術の向上に貢献し、さらにその成果を地方省病院へ普及する仕組み作りに協力することにより地域住民により良い医療を提供できるようになることが期待されます。



チョーライ病院



ホーチミン医科薬科大学



University Medical Center (ホーチミン
医科薬科大学附属病院)



筑波大学附属病院